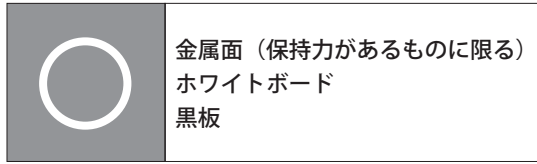


マグネスクリーン®ファイン・マグネクリーンシート・マグネ黒板シートが使用できる下地



※マグネット保持力のある下地にのみ使用できます。
○の場合も凹凸のない状態に限ります。



左記以外の下地

▲ 保管時の注意

- 商品到着後、中身を確認し速やかにご使用ください。
- 直射日光のあたる場所、火や熱源のそば、高温多湿になる場所、屋外での使用・保管は避けてください。変色や変形、はがれ、マーカーが消えなくなる等の原因になります。
- 巻きぐせが付いている場合、貼り付けた後にくせにより浮いてくることがあります。平坦なところでくせがなくなるまで広げておくか、逆巻きにするなどして巻きぐせを取ってください。
- 使用されない時は折り曲げず平坦な場所に置くか、筒状に丸めて保管してください。
- 細く巻いたり折り曲げると、シート表面に折り目やシワの入る可能性があります。(一度折れると元に戻りません)

▲ 設置時の注意

- 凹凸や丸みがありマグネットが取付面に確実に密着しない場所・ステンレス(種類による)・アルミ・木製品等、マグネットが取り付けられない場所には貼付けできません。
- パソコン、フロッピーディスク、磁気テープ等の磁気をきらうところへの使用は避けてください。
- 細心の注意を払い加工しておりますが、稀にシート端部にカットくずが付着している場合があります。拭き取ってご使用ください。
- 乱暴な取り扱いや、用途以外の使用は避けてください。

▲ 施工後の注意とメンテナンス

- マグネット面に表面加工された紙や平滑な紙、印刷物、塗装面等を密着させると、環境条件によってははがれなくなることがありますのでご注意ください。
- 硬いものでこすったり、鋭利なものでひっかいたりしないでください。表面を傷つけると傷部分にマーカーのインクやチョークが入り込み消せなくなります。
- 表面が滑りやすい素材のため、マグネットで付けた物の落下に十分ご注意ください。
※ホワイトボードマーカー及びチョークの選定は39ページをご参照ください。

[マグネスクリーン®ファイン]

- 投影した画像の品質は、下地の状態やプロジェクターの種類、投影環境によって異なり、それを見る人の主観によっても変わります。例えば、投影した画像が明るすぎて眩しいと感じる場合がありますので、ご使用前に投影品質を確認してください。

[マグネ黒板シート]

- 新しい黒板の黒板面は、チョークとなじませることが必要です。(チョークとなじんでいない黒板面は、チョークの文字が消えにくく残ることがあります。)
 1. 白色のチョークを横に寝かせて、黒板面にチョークの粉をこすりつけます。
 2. 黒板消しで黒板面全体を一樣に拭いて、チョークの粉を落とします。
 3. 更に一度「水拭き」をすると、滑らかになり易くなります。
- 書き消しの汚れがひどい場合はきれいな布を水で湿し、よく絞ったものでシート全面を優しく水拭きしてください。次に、乾いたきれいで柔らかい布で水分を拭き取ってください。水拭きの際は洗剤(酸性・アルカリ性・中性を問わず)を使用しないでください。

施工の流れ

▲ ご注意 ●商品が一般的な壁紙と比べ重いため、施工長1m未満で2人以上、1m以上は3人作業をおすすめ致します。
(マグネスクリーン®ファイン約1.5kg/m²/マグネクリーンシート約2.8kg/m²/マグネ黒板シート約2.4kg/m²)

1 マグネスクリーン®ファイン・マグネクリーンシート・マグネ黒板シートが使用できる下地か確認

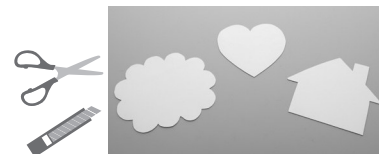
巻きぐせは貼付け前に平坦なところにくせがなくなるまで置き、巻きぐせをとってください。

2 下地の清掃・確認

使用可能下地であっても、汚れ・ホコリの付着により、付かない・付きにくい場合があります。よく絞ったタオル等で清潔な状態にしてください。
下地は完全に乾燥させてください。

3 必要なかたちにカット

はさみ・カッターでカットできます。



4 貼付け

端から空気を抜きながら貼付けて完了です。

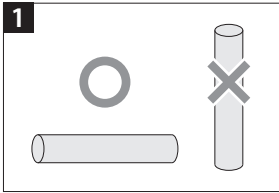
お絵描きウォール／マグウォールスクリーン NEW

施工の流れ

例： プラスターボード（石膏ボード）の基材に施工した場合

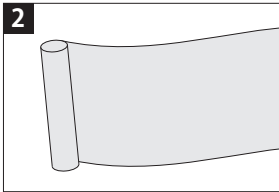
⚠️ ご注意

- 商品が一般的な壁紙と比べ重いため、施工長1m未満で2人以上、1m以上は3人作業をおすすめ致します。
(お絵描きウォール約2.5kg/m²／マグウォールスクリーン約1.5kg/m²)



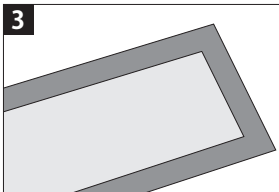
商品の開梱

届いた商品は横置きしてください。商品到着後は速やかにご使用ください。開梱時は商品にキズがつかないように、カッター・はさみのご使用時はご注意ください。



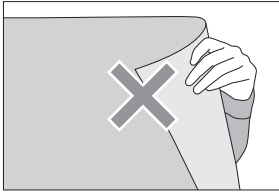
商品確認

商品にキズ等・異常がないか確認してください。
※施工中・施工後のキズ・へこみ等クレームはお受けできませんのでしっかりと確認してください。



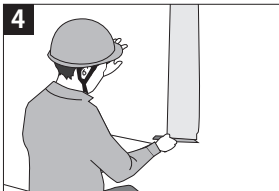
巻きぐせをとる

下地にシート等をひき、商品が汚れないように配慮した上で、慎重にシートを引き出し、平坦な面で巻きぐせをとります。



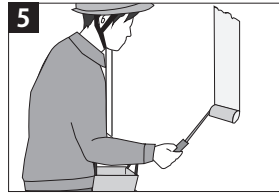
⚠️ ご注意

へこみ・折れがつくとおすことができないデリケートな商品です。商品を引き出す際には、力まかせに引っ張りださないでください。



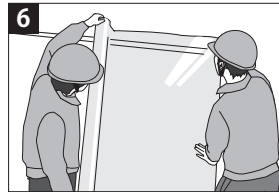
下地の準備①

パテ処理: 上塗りパテ
表面状態をよく確認し、凹凸をなくす。表面にツヤがあり、凹凸が目立つため入念に行う。
サンディング
＃180～＃240 サンドペーパー



下地の準備②

糊付け: 向こう糊
下地に刷毛やローラーで糊付けする。



貼付け①

シートの上端部を仮止めし、上部の基準線に合わせ貼付ける。



貼付け②

軽く撫で、空気を外側に追い出すように抜いていく。



貼付け③

シートを引っ張りながら、撫でハケ等で壁紙の中央から外側へ空気を完全に抜くように仕上げる。

※ジョイントがある場合は、商品の端部をあらかじめ切り落としたうえで、突きつけ施工してください。(一般的な壁紙と比べジョイント部が目立ちます。)



施工完了

付着した汚れ等は完全に拭き取る。
※特に表面に付着した接着剤は必ず拭き取ってください。

ジョイナー仕上げの場合

シートの貼付け前に、アタッチメント(クイックジョイナーアタッチメント)を貼付けてください。

アタッチメントの詳しい施工方法については、シンコール壁紙見本帳「ベスト」「ビッグエース」に掲載の施工要領書にてご確認ください。

施工に際して

▲ 保管時の注意

- 商品到着後、中身を確認し速やかにご使用ください。
- 到着後は平坦な場所に横置き保管してください。
縦置きは端部つぶれの原因になりますので避けてください。
- 乱暴に扱わないでください。商品性質上、一度折れると元には戻りません。

▲ 設置時の注意

- 下地基材の不陸が表面に出やすいので、パテ処理を入念に行ってください。※1
ボードの継ぎ目や凹部が大きい場合には、下塗りが必要ですが、表面が平滑の場合には、下塗りを省略できる場合があります。
表面状態をよく確認して作業を進めてください。
- 直射日光のあたる場所、火や熱源のそば、高温多湿になる場所、屋外での使用・保管は避けてください。
変色や変形、はがれ、マーカーが消えなくなる等の原因になります。
- ジョイントは突き付け施工が基本です。
ただ、厚みが厚いため一般的な壁紙と比較してジョイント部分が目立ちます。また、ジョイント部にマーカーの消しカスが入り込み、黒くなる場合があります。
その際は、市販のボードクリーナー等での清掃をお願いします。※2
- 施工後、表面(ホワイトボード面)に付着した接着剤等の汚れは、完全に拭き取ってください。
汚れが残っていると筆記後消せなくなる場合があります。
- 下記の一覧表は、一般的な下地の状況に応じた参考資料です。
施工に関しては、基材の状態を確認し、できれば試験施工をされる事をおすすめ致します。
各パテ、接着剤等の使用方法については、それぞれのメーカーにお問い合わせください。

※1 マグウォールスクリーンについては、パテ処理をしても、基布(メリヤス)の目が表面に現れることがありますが、下地不良による不陸ではありません。

※2 ホワイトボードマーカーの選定は39ページをご参照ください。

※3 接着剤の硬化を遅らせるためでんぷん糊を混ぜ合わせます。施工時の季節や気温、現場の状況により混合比は異なります。
使用方法の詳細は接着剤メーカーにお問い合わせください。

▲ 基材別下地調整一覧表(参考資料)

調整手順	基材	プラスチック	
	ガラスボード	シナ合板/MDF	金属
前処理	◎推奨基材	○施工可能	△1m程度の短尺は可能
パテ処理	釘・タッカーの锚頭等の処理	錆・油脂成分・汚れの除去 表面層の確認	錆・油脂成分・汚れの除去 表面層の確認
サンディング	#180～#240のサンドペーパーでサンディング		
表面清掃	刷毛、ウエス等にて清掃	アルコール又はラッカー シンナーにて清掃	アルコール又はラッカー シンナーにて清掃
接着塗工	<ul style="list-style-type: none"> ●でんぷん系の糊/酢酸ビニル樹脂 (混合比1:9)※3 ●ローラー塗り(基材側) ●塗布量の目安: 100～120g/m² 	<ul style="list-style-type: none"> ●ゴム系速乾接着剤 ●ローラー塗り(基材側) ●塗布量の目安: 200～300g/m² 	<ul style="list-style-type: none"> ●推奨: プラゾールSS (ヤヨイ化学工業(株))
推奨			<ul style="list-style-type: none"> ●推奨: プラゾール速乾マイルド (ヤヨイ化学工業(株))

※ヤヨイ化学工業(株)の商品情報はH28.2.1現在のものにて記載しております。

▲ 施工後の注意とメンテナンス

- 施工時の取扱いと残材の保管は、シート表面と端部保護のため立てかけはご遠慮ください。横置きまたは専用段ボール箱に入れてください。
- マグネット面に表面加工された紙や平滑な紙、印刷物、塗装面等を密着させると、
環境条件によってははがれなくなることがありますのでご注意ください。
- シート面を硬いものでこすったり、鋭利なものでひっかいたりしないでください。フィルム表面を傷つけると凹部に
マーカーのインクが入り込み汚れて消せなくなります。
- 日常的な汚れはきれいな布を水で浸し、良く絞り、シート全面を水拭きしてください。次に、乾いたきれいな布で
シート全面の水分を完全に拭き取ってください。
- 表面が滑りやすいため、マグネット付けした物の落下に十分ご注意ください。

マグフィットが使用できる下地

	<p>スチール面 ガラス面 樹脂面 化粧鋼板面 ホワイトボード 黒板</p>		<p>壁紙 ※エンボス形状により、はがれる恐れがあります。事前にサンプルにてご確認ください。</p>		<p>ベニヤ 石膏ボード 紙 ケイカル板 汚れのついた面</p>
---	--	---	--	---	--

※吸盤効果で貼付くため、面が平滑である必要があります。

○の場合も凹凸や汚れのない状態に限ります。

⚠ 保管時の注意

- 商品到着後、中身を確認し速やかにご使用ください。
- 到着後は平坦な場所に横置き保管してください。縦置きは端部つぶれの原因になりますので避けてください。
- 乱暴に扱わないでください。商品性質上、一度折れると元には戻りません。

⚠ 設置時の注意

- マグフィットの反りや曲がりを使用前に平坦なところにくせがなくなるまで置き、直してください。反りや曲がりがあると貼り付けた後に浮きが発生することがあります。
- 貼付け面のホコリ、水分、油分等はきれいに拭き取った後、十分に乾燥させてください。ホコリや汚れのある場所には貼り付けられません。
- 吸盤面に貼付けてある保護フィルムを剥がして設置してください。
- シートの端部から貼り進め、シート内の空気を逃がす様に貼ってください。何度でも貼り直しができます。シートを貼った後に、手またはやわらかい布で、シート表面から押さえると吸着が安定します。また、シートをはがす時は、シート端部からゆっくりはがしてください。
- マグフィットは重量が約1.6kg/m²あります。貼付けや取り外し時は、足下や周囲に注意してください。
- 直射日光のあたる場所、火や熱源のそば、高温多湿になる場所、屋外での使用・保管は避けてください。変色や変形、はがれ、マーカーが消えなくなる等の原因になります。
- 剥がす際、貼る面側の素材が剥がれる場合があります。事前に目立たない場所でご確認ください。
- 用途以外の使用は避けてください。

※ホワイトボードマーカーの選定は39ページをご参照ください。

施工の流れ

1 マグフィットが使用できる下地が確認

マグフィットの巻きぐせは使用前に平坦なところにくせがなくなるまで置き、巻きぐせをとってください。

2 下地の清掃

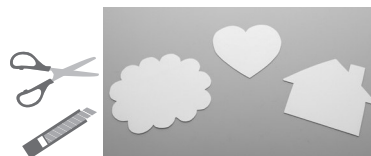
使用可能下地であっても、汚れ・ホコリ等の付着により、付かない・付きにくい場合があります。よく絞ったタオル等で清潔な状態にしてください。

3 下地を完全に乾燥させる

下地に水分があると、吸着可能下地であっても付かない・付きにくい場合があります。下地は完全に乾燥させてください。

4 お好きなかたちにマグフィットをカット

はさみ・カッターでカットできます。



5 貼付け

はくり紙をはがし、貼りたい位置に貼付ければ完了です。吸盤作用で貼付けるため、失敗しても何度でも貼り直せます。

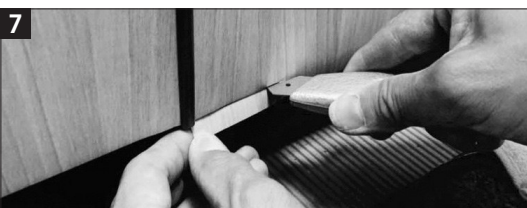
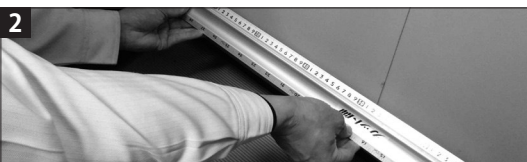
⚠ 施工後の注意とメンテナンス

- 施工時の取扱と残材の保管は、シート表面と端部保護のために立てかけないでください。横置き、または専用段ボール箱に入れてください。
- 商品性質上、一度折れると元には戻りません。
- マグネット面に表面加工された紙や平滑な紙、印刷物、塗装面等を密着させると、環境条件によってははがれなくなることがありますのでご注意ください。
- 硬いものでこすったり、鋭利なものでひっかいたりしないでください。表面を傷つけると凹部にマーカーのインクが入り込み汚れて消えなくなります。
- 裏面のマイクロ吸盤が傷むと貼付けられなくなります。
- 日常的な汚れはきれいな布を水で浸し、よく絞ったものでシート全面を水拭きしてください。次に、乾いたきれいな布でシート全面の水分を完全に拭き取ってください。
- 裏面が汚れて吸着力が低下した時は、水で濡らした布で吸着面を拭いてください。よく乾かした後、吸着力が元に戻ります。
- 表面が滑りやすいため、マグネットで付けた物の落下に十分ご注意ください。

※ホワイトボードマーカーの選定は39ページをご参照ください。

施工の流れ

例：エレベーター内
スチールパネル



商品の開梱

- ・工事前にエレベーター保守点検会社に工事開始の連絡をしてください。
- ・養生材（パンチカーペット）を剥がします。
- ・エレベーター内スチールパネルに付着している糊・塵・埃をアルコール希釈液にて拭き取ります。※異物が残ると貼り上がりに影響するため、丁寧に除去します。
- ・付属品（手すりやカメラ）で外せるものは外しておきます。
- ・操作盤を外す前に、写真を残し、結線時に役立てます。
- ・操作盤を外す場合、結線ミス防止のためコネクターに番号を貼ります。

採寸・カット

- ・スチールパネルが上下で幅寸法が異なる場合があるため、2～3箇所採寸します。
- ・EVマグネデコシートはフラットな床面に、塵・埃が付きにくいようシート等で養生した上に置きます。地面にそのまま置かないでください。（2m×3m程度のスペースが必要です。）
- ・EVマグネデコシート両端は直線でないため、1枚毎に片端をカットし、そのカットラインに曲尺を合わせて直角を出し上部をカットします。
- ・長い定規で直線にカットします。
- ・高さは実寸法よりも数センチ長めにカットします。（天井が水平でなく、後でカットする場合があります。）
- ・2枚目からのカットは、1枚目を貼った後に採寸しカットすることをお勧めします。

貼付け

- ・貼りつけ前にアルコール希釈液でEVマグネデコシートの塵・埃を除去します。
- ・EVマグネデコシートを鋭角に折り曲げると跡が残るため、取り扱いにはご注意ください。
- ・1枚貼った後、専用目地材のアタッチメントを厚みの薄い両面テープを使用して貼付け次のジョイナーまでの寸法を採ります。
- ・化粧面を内巻にし、上部より貼ります。（手前から貼った方がエレベーターの歪みを調整出来ます。）
- ・EVマグネデコシート裏面に付着物がないか確認しながら貼っていきます。
- ・天井が水平でない場合は目地に合わせて貼り、その後再度巻き取りEVマグネデコシート上部を天井面に合わせカットします。
- ・貼り合わせが目地に合わない場合は、EVマグネデコシートをロール状にし、サイドから軽く叩き補正します。

注意：補正時、ロールの巻が甘いとEVマグネデコシート端部を損傷する場合がありますので注意してください。天井にのみ込みがある場合は、EVマグネデコシートとパネルの間に紙を挟み込むと施工し易くなります。

付属品が外せない場合の処置

- <手すり>
- ・手すりが外せない場合は、手すり固定部より下へ垂直にスリットを入れてEVマグネデコシートを加工してください。
 - ・横にスリットを入れるとジョイントが目立ちます。特に木目柄の場合は注意してください。
- <カメラ>
- ・壁面に設置されていた場合は、カバーを外し施工します。
 - ・カバーを外すとアングルが変わる場合があるため、外す前の状態を写真に保存しておきます。

ジョイナー装着

- ・EVマグネデコシートが貼り終わったら、専用目地材をジョイントに差し込み装着します。
- 注意：専用目地材とEVマグネデコシートの隙間を無くすように装着します。入隅材でエレベーターの歪みを調整し、隙間なくEVマグネデコシートを貼ります。

仕上げ

- ・長めにカットしたEVマグネデコシートを下部の中木に合わせカットします。
- ・EVマグネデコシート表面に突起物がないか確認し、あった場合はシートをめくり異物を撤去します。
- ・表面に手垢がついている場合がありますので、アルコール希釈液で拭き取ってください。